様式第１号（第１０条関係）

2023 年度業務実績報告書

提出日 2024 年 1 月 18 日

１．職名・氏名　准教授・加藤まどか

２．学位　　学位　修士、専門分野　社会学、授与機関　東京大学、授与年　1994 年 3 月

３．教育活動

(1)講義・演習・実験・実習
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 現代家族論（２単位）１・２・３年生
②内容・ねらい 現代日本の家族の変化を、歴史的な流れにおいてとらえ、また諸外国での家族の変化の動向のなかでとらえる。家族が変化するなかで、子育てや高齢者介護においてどのような問題が生じているのか解説する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 今年度の授業は主に対面で行い、空欄を設けた資料を配布して、受講者が重要な語句などを書き込みながら解説を聞くというやり方で実施した。資料には、グラフや表、画像や新聞記事などを盛り込み、理解が深められるように工夫した。回によっては、動画を視聴するなどして、受講者の関心が高められるように配慮した。毎回受講後には、授業内容への意見・感想・質問等をＬＭＳに投稿してもらい、次回の授業時に、それに対する教員からのコメントを伝えるようにした。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 ジェンダー論（２単位）　１・２・３年生
②内容・ねらい 家庭や学校、職場や地域において、性別にもとづいた秩序がどのように形成され、現在どのような形で存在しているのかについて説明する。性別にもとづいた秩序がどのように維持されているのか、またそれを変えていこうとする試みについて紹介する。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 今年度の授業は主に対面で行い、空欄を設けた資料を配布し、受講者が重要な語句などを書き込みながら解説を聞くというやり方で実施した。資料には、グラフや表、画像や新聞記事などを盛り込み、理解が深められるように工夫した。回によっては、動画や DVD を視聴するなどして、受講者の関心が高められるように配慮した。毎回受講後には、授業内容への意見・感想・質問等をＬＭＳに投稿してもらい、次回の授業時に、それに対する教員からのコメントを伝えるようにした。
①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等 導入ゼミ（１単位）　１年生
②内容・ねらい 子どもの放課後をめぐる状況、学童保育の現状と課題、国や地方自治体の放課後施策について理解を深める。テーマの設定の仕方、資料の集め方、報告のやり方、ディスカッションのやり方、レポートの書き方などの基本事項を学ぶ。
③講義・演習・実験・実習運営上の工夫 今年度は対面での授業となり、前半は、放課後の子どもの生活の歴史的な変化や、放課後児童クラブの現状と課題についての解説を行った。その後は、各自が関心のあるテーマについて、資料を集め、主題を絞り込み、問いを展開し、課題を段階的にこなしながら、無理なく報告やレポートをまとめていけるように、ゼミを進めた。それぞれのテーマの報告に際しては、参加者が意見を述べやすいようにし、参加者と報告者とで応答ができるように配慮した。

①担当科目名（単位数）　　主たる配当年次等
　社会学（２単位）　　１・２・３年生

②内容・ねらい
　社会学の歴史を学び、初期の社会学者たちが「社会」をとらえようとした視点について学ぶ。現代日本社会において、生まれ、学び、働き、暮らすというライフコースの過程でかかわる可能性がある様々な問題を取り上げ、その背景について解説する。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
　今年度は対面での授業となり、空欄を設けた資料を配布し、受講者が、重要な語句などを書き込みながら解説を聞くというやり方で、授業を実施した。資料には、グラフや新聞記事などを取り入れ、理解しやすいように工夫した。回によっては、DVD を視聴するなどして、受講者の関心が高められるように配慮した。毎回、受講後には、授業内容への意見・感想・質問等をＬＭＳに投稿してもらい、次回の授業時に、それに対する教員からのコメントを伝えるようにした。

①担当科目名（単位数）　　主たる配当年次等
　教養ゼミ（１単位）　　１年生

②内容・ねらい
　子どもの放課後をめぐる状況、子どもの権利、放課後児童クラブの現状と課題等について理解を深める。自分の関心のあるテーマについて、資料を集め、文献を読み、考察し報告する方法について学ぶ。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
　今年度は対面での授業となり、前半は子どもの権利条約と子どもの権利、子どもの貧困、児童虐待、放課後児童クラブ等について、資料をもとに解説をした。また子どもの発達や子どもへの支援について学ぶために、放課後児童クラブに伺って子どもとの活動を実施した。活動後の振り返りでは、支援員や自分自身の子どもとの関わりについて、また子どもたちの様子について、様々な気づきがあったことが報告された。後半は、それぞれが関心のあるテーマについて、個人あるいはグループで報告し、報告後に、皆で質問をしたり、意見を言い合ったりして学びを深めた。グループ報告では、メンバーが協力しあって報告をまとめる様子が見られた。授業終了後には、それぞれの報告へのコメントをＬＭＳ上で投稿してもらい、報告者が、参加者全員からコメントをもらえるようにした。

[フィールドワーク等　１件]

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
　学術ゼミＡ（２単位）　２・３・４年生

②内容・ねらい
　ケアという営みや依存労働について理解を深め、ケアの市場化やケアの危機という現状について認識し、ケア・家族・ジェンダーにかかわる問題について、自分の視点から考察できるようになることを目標とする。また自分の関心のあるテーマを選んで報告・レポートにまとめていくやり方や、ディスカッションのやり方についても学ぶ。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫
　前半は、ケアや依存労働について論じた文献や、家族のケア責任についての新聞記事を読んで議論したり、また地域の高齢者の居場所づくり活動について DVD を視聴して話し合ったりした。参加者が意見や感想を述べやすいように心がけ、議論を通して理解を深められるように工夫した。
　後半は、参加者がそれぞれ関心のあるテーマについて報告し、報告後、互いに意見や感想を述べ合った。参加者同士で意見を言いやすい雰囲気になるように配慮した。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等
　学術ゼミＢ（２単位）　２・３・４年生

②内容・ねらい

ケアという営みや依存労働について理解を深め、ケアの市場化やケアの危機という現状について認識し、ケア・家族・ジェンダーにかかわる問題について、自分の視点から考察できるようになることを目標とする。また自分の関心のあるテーマを選んで報告・レポートにまとめていくやり方や、ディスカッションのやり方についても学ぶ。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

前半は、ケア・新自由主義・高齢者介護・自助社会等のテーマについて、文献を読んだり、映像を視聴したりして、意見や感想を述べ合った。映像を視聴することで、参加者が内容を理解しやすいように心がけ、意見や感想を述べやすいように工夫した。

後半は、参加者がそれぞれ関心のあるテーマについて報告し、報告後、互いに意見や感想を述べ合った。参加者同士で意見を言いやすい雰囲気になるように配慮した。

①担当科目名（単位数）　主たる配当年次等

教養特講Ⅰ（研究の世界）（オムニバス）（２単位）　１・２・３年生

②内容・ねらい

オムニバスの授業のなかで、1 コマを担当した。「再配分と承認」というテーマで、Nancy Fraser の議論を参照し、社会正義を要求する際の、２つの異なるあり方について解説を行った。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

対面で授業を行い、具体例を多く挙げて説明することで分かりやすい解説となるように心がけた。

(2)その他の教育活動

４．研究業績

(1)研究業績の公表
①著書 【　本】
②学術論文（査読あり） 【　本】
③その他論文（査読なし） 【　本】
④学会発表等 【　件】
⑤その他の公表実績 【　本】
(2)科研費等の競争的資金獲得実績
(3)特許等取得
(4)学会活動等

５．地域・社会貢献活動

①-2 委員就任(県)

・福井県人権施策推進審議会委員、人権施策の推進のための基本方針の調査審議および人権施策の実施状況に関する調査審議、H16～現在に至る

・福井県公害審査会委員、公害に係る紛争についての斡旋・調停・仲裁、H19～現在に至る

・福井県社会福祉審議会委員、社会福祉に関する事項の調査・審議、H22.4～現在に至る

・福井県私立学校審議会委員、私立学校・私立専修学校・私立各種学校に関する重要事項について知事に建議、R1.12～現在に至る

・福井県防災会議委員、福井県地域防災計画等の審議、R4.6～現在に至る

・「社員ファーストアワード」検討会委員、表彰に係る選考基準の検討や助言等、R5.8～現在に至る

①-3 委員就任(市町村)

・福井市男女共同参画審議会委員、基本計画及び男女共同参画の推進に関する重要事項についての調査・審議、H22～現在に至る

①-4 委員就任（その他公益法人等）

・福井県立歴史博物館運営協議会委員、福井県立歴史博物館の運営の審議、H26～現在に至る

⑦その他

・全国母子寡婦福祉団体協議会・中部地区 6 県母子寡婦福祉連合会主催　令和 5 年度中部地区母子寡婦福祉研修大会　研修討議「つなごう人の輪、守ろう地域の輪」コーディネーター、福井県生活学習館（ユー・アイふくい）　2023 年 9 月 10 日

６．大学運営への参画

(1)補職

(2)委員会・チーム活動

論集編集委員会 R5.4～現在に至る

学生支援委員会　障害学生支援部会　R5.4～現在に至る

ハラスメント等人権問題に関する委員会・相談員　R3.4～現在に至る

(3)学内行事への参加

(4)その他、自発的活動など